

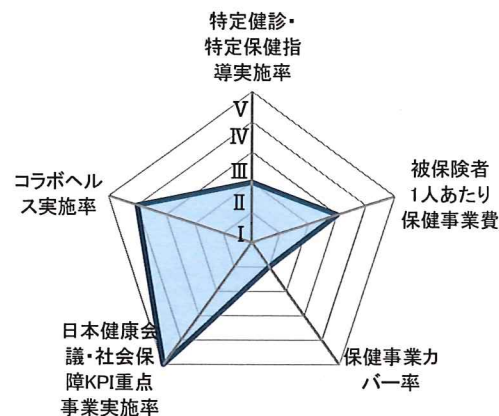
# データヘルス計画 アドバイスシート概要

※区分の範囲は  
右表の通りです。

区分	範囲
V	上位2割
IV	上位2～4割
III	上位4～6割
II	上位6～8割
I	上位8～10割

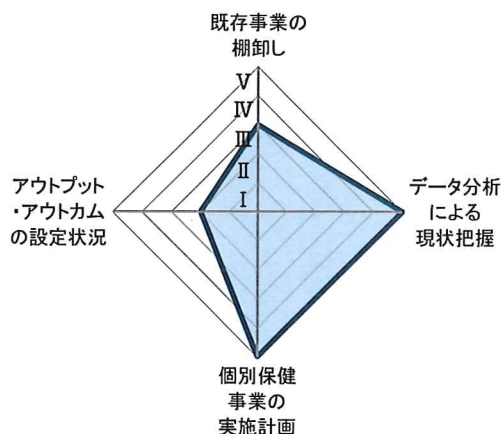
組合コード	62321	組合名称	栗田健康保険組合
形態	単一	規模	3,000～4,000人未満
		業態	機械器具製造業

## 1. 保健事業の実施状況



	貴組合		全組合平均	コメント
	区分※	数値		
特定健診・特定保健指導実施率 上段: 特定健診受診率 下段: 特定保健指導実施率	II	73.8%	73.0%	特定健診受診率が3.9%、特定保健指導実施率が0.8%増加すればⅢになります。
		9.2%	20.9%	
被保険者1人あたり保健事業費	III	21,553円	27,936円	1人あたり保健事業費はⅢに区分されています。
保健事業カバー率	I	28.1%	40.9%	保健事業の基盤を整理することで個別保健事業の効率・効果を高めることができます。まずは職場環境整備と加入者の意識づけから始めましょう。
日本健康会議・社会保障KPI重点事業実施率	V	60.0%	41.4%	
コラボヘルス実施率(参考)	IV	66.7%	50.8%	

## 2. データヘルス計画



	貴組合		全組合平均	コメント
	区分※	数値		
既存事業の棚卸し	III	81.8%	80.4%	棚卸しができています。今後実施する事業に対し、より実態に即した質の高い目標を設定するために、取り組み状況の実施量やカバー率について把握しましょう。
データ分析による現状把握	V	40.2%	31.0%	加入者の現状を様々な角度から把握できています。事業所単位の比較や医療費とのクロス分析など、独自の視点やこれまでと異なる切り口でのデータ分析に挑戦してみましょう。
個別保健事業の実施計画	V	87.9%	67.1%	実施計画が十分に整理できています。既存事業の棚卸しやデータ分析によって得られた健康課題への対策が講じられているか確認し、アウトカムの達成に向けて着実に計画を実施していきましょう。
アウトプット・アウトカムの設定状況	II	54.5%	65.2%	事業目的に応じたアウトプット(事業量目標)、アウトカム(成果量目標)が適切に設定できているか確認しましょう。